

修学旅行新聞

発行所 財団法人 協会
全国修学旅行研究協会
発行人 前田寛
〒101 東京都千代田区一
神田錦町1-17-1 (NK第
ビル) ☎03(5259)0631
振替 00160-7-36337

★ われわれは教育を熱愛し 友愛と信義を基盤とする同志の組織のうちに団結する
★ われわれは全修協創設の精神のつとめ 公益法人として 児童生徒の幸福のために挺身する
★ われわれは修学旅行の改善向上に邁進し 我が国の教育振興に寄与する

平成7年度役員と事業計画を決定

関東・東海・近畿三地区公立中修旅連



木下新会長

会長に木下脩三氏

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(横嶋孝夫会長・前京都府立陽南中学校校長)は、平成7年度総会を七月十四日、京都市のホテルサンフワール京都で開催し、本年度事業計画の決定、役員を選出等を行った。

総会は、吉田俊彦副会長(愛知県師範中学校長)が開会を宣し、横嶋会長のあいさつの後、前田寛参与全修協理事・総局長が当委

員会の沿革を説明した。続いて、横嶋会長が議長となつて議事に入り、平成六年度各地区修学旅行委員会の事業報告、本委員会の会務報告が行われた。役員改選は、各地区並びに全修協から推薦された平成七年度役員候補者名簿により、

木下脩三会長(大阪狭山市立狭山中学校長)以下別掲の新役員が決定した。横嶋前会長、木下新会長のあいさつの後、議長を木下会長に交代して平成七年度事業計画を審議した。

①各地区修学旅行計画輸送の無事故完遂と、楽しく思い出深い修学旅行の実施
②安全で合理的な平成七年度修学旅行輸送計画作成
③第十回全修協修学旅行セミナー(九月十九日、名古屋)への協賛
④第十二回全国修学旅行研究大会(十一月二十八日、

大阪)への協力
⑤平成七年度修学旅行実施状況調査実施(全加盟校)
⑥平成八年度修学旅行費用等(国庫補助金増額)について文部省、大蔵省への陳情

なを決定、青木一副会長(名古屋市長立南中学校長)の閉会の辞で終了した。平成七年度役員・委員名(各中学校長・敬称略)。会長―木下脩三(大阪・狭山) 副会長―青木一(愛知・富士) 篠澤利喜雄(群馬・前橋) 運営委員―新井俊雄(埼玉・大砂土) 倉角秀悟(岐阜・大垣西) 山口光則(京都・大山崎) 井桁孝(全修協) 委員―八木啓(中川昌光) 茨城・赤塚 松本忠(栃木・横川) 田口静夫(群馬・新治) 張登了(千葉・土浦) 東海海井美恵子(岐阜・県校長会) 藤井真哉(三重・朝陽) 野村定男(三重県) 修学旅行研究会 近畿―本田彰(滋賀・仰木) 平岡豊(京都・高田) 細田経世(大阪・英田) 柴

なを決定、青木一副会長(名古屋市長立南中学校長)の閉会の辞で終了した。平成七年度役員・委員名(各中学校長・敬称略)。会長―木下脩三(大阪・狭山) 副会長―青木一(愛知・富士) 篠澤利喜雄(群馬・前橋) 運営委員―新井俊雄(埼玉・大砂土) 倉角秀悟(岐阜・大垣西) 山口光則(京都・大山崎) 井桁孝(全修協) 委員―八木啓(中川昌光) 茨城・赤塚 松本忠(栃木・横川) 田口静夫(群馬・新治) 張登了(千葉・土浦) 東海海井美恵子(岐阜・県校長会) 藤井真哉(三重・朝陽) 野村定男(三重県) 修学旅行研究会 近畿―本田彰(滋賀・仰木) 平岡豊(京都・高田) 細田経世(大阪・英田) 柴

なを決定、青木一副会長(名古屋市長立南中学校長)の閉会の辞で終了した。平成七年度役員・委員名(各中学校長・敬称略)。会長―木下脩三(大阪・狭山) 副会長―青木一(愛知・富士) 篠澤利喜雄(群馬・前橋) 運営委員―新井俊雄(埼玉・大砂土) 倉角秀悟(岐阜・大垣西) 山口光則(京都・大山崎) 井桁孝(全修協) 委員―八木啓(中川昌光) 茨城・赤塚 松本忠(栃木・横川) 田口静夫(群馬・新治) 張登了(千葉・土浦) 東海海井美恵子(岐阜・県校長会) 藤井真哉(三重・朝陽) 野村定男(三重県) 修学旅行研究会 近畿―本田彰(滋賀・仰木) 平岡豊(京都・高田) 細田経世(大阪・英田) 柴



奈良東大寺金堂―大仏殿は世界一の木造建築 (東京都武蔵村山市立第一中学校 2面に作文)

主張

交通機関の変遷と修学旅行

広報委員 中島和友

戦後五十年の夏を迎えた。苦しかった当時には想像もできない、今の豊かな時代への交通事情の変遷を回顧し、将来への展望を考えてみたい。終戦直後は、極度の食糧不足に悩み、鉄道中心の交通も石炭不足で、列車の運行はままならなかった。こうしたなか、戦争のため一時中断を余儀なくされていた修学旅行は、いち早く復活を遂げ、新生日本を担う青少年に夢と希望を与えた。しかし、社会情勢を反映して交通機関、宿舎、内容、安全性などは劣悪なもので、重要な教育活動として実施される修学旅行として多くの問題点をもつていた。全国修学旅行研究協会は、こうした現状を打開し、修学旅行の改善向上を目指して設立、活動を開始し、創立四

通、東京大阪間を三時間余で結ぶこととなった。しかし、当時はまだ石炭が盛期で東北線や北陸線では単線区間が多く、一方、常磐線や室蘭線など石炭需要にかかわる所は複線化され貨物列車が頻りに走り、その間を縫って修学旅行の専用列車がゆくりと走っていた。青函連絡船も四本の煙突から煙をあげて航海していたが、今はその面影もなく、炭鉱の支線は全廃、貨物の操車場は広大な遊休地となり、連絡船も廃止されて、エネルギー源は石炭から石油に移り、自給自足とは縁遠い昨今である。新幹線も、開業当時は修学旅行生が利用することは考えられなかったが、教育として行われる修学旅行にも当然新幹線利用をとり、全修協は運輸省や文部省と折衝し、その利用と修学旅行連合体専用輸送、特急料金の割引を実現させた。昭和四十年には、従来線の専用列車が新たにいくつも誕生しているが、変遷は目まぐるしく、大阪万博終了後の

昭和四十六年には、高速大量輸送の東海道新幹線にその主役を譲ることとなった。また、高速道路網の発達も、貨物輸送についての状況を一変させ、そのほとんどを鉄道からトラック輸送へと移行させた。修学旅行も、バスで長距離を移動するケースが増加しているが、疲労、安全性等に問題がある。航空機利用も、地方空港の充実と所要時間の短縮で増加の一途をたどっているが、大量輸送を安価で安全に行える鉄道や船舶を、将来にむけて一度見直すべきではなからうか。多数の児童生徒を、安全で経済的に移動させるためにも、鉄道に勝るものはない。沖縄の中学生が九州でJRの体験乗車をやる例もあり、マイカー時代の小学生が遠征で初めて電車に乗ったという話が一般化しないよう、将来に向け、学校側も鉄道側も、修学旅行連合体専用列車のおお一層の充実と理解を望むものである。

風紋

夏はやはり海と山。大震災から半年、被災者の苦悶は続くが、神戸の観光復興のメーンは「みなと夏まつり」。レーザー光線を用いて「不死鳥」を中央堤付近に描き、海辺に復興の願いを込めたイベントなどが開催されている。六甲山のケーブルも七月下旬に復旧し、涼を求める人にも朗報だ。平安末期の「五代集歌枕」(藤原範兼)には万葉集、古今集など五つの和歌集に詠まれた八三四の地名があげられている。日本の景観(樋口忠彦)によると、そのうち海・山に関するものは八七%を占めるといふ。日本人は古来から山海の景観に親しみ、多くの歌にその思いを託してきたと云える。山といえは、NHKの「日本百名山」(深田久弥)が好評だった。北は利尻・礼文から南は屋久島の宮の浦岳まで、よりすべった見事な眺望を茶の間に届けた。登れなくても景色を楽しむという人も多く、要望してまた再放送もされた。深田さんは、選考の際「厳しさが強さか美しさか、何かを打つもの、昔から人間と深いかわりを持つ山を除外するわけにはいかない」と述べている。八月八日は立秋。また夏の盛りだが、お天気博士の倉島さんによると、光の強さはもう秋だといふ。古歌は「風の首にぞ驚かれぬ」と詠んでいるが、いずれにしても自然の興行は深い。秋は修学旅行のシーズン。この際「自然に親しむ」ことの意義を見直してみてもいいか。

信頼される旅づくり
心にあざやかな思い出を
ツリーリストの
修学旅行。
近畿日本ツリーリスト
40th ANNIVERSARY
運輸大臣登録一般旅行業第20号 (社) 日本旅行業協会会員

楽しい修学旅行を、
より安心
より快適に
「学校旅行総合保険」
をおすすめします。
東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

修学旅行生の作文

へ心に残る修学旅行

京都・奈良への初めての旅

東京都武蔵村山市立第一中学校

山辺 哲

僕は、京都・奈良へ行くのは初めてのことです。だからとても楽しみにしていました。いろいろな建物や仏像があるけれど、テレビやパンフレットで見ると違っていました。年々前につくられたものなのか、疑問がわいてきました。



一心に残った金閣寺

京の夏の風物詩

祇園祭の宵々山

三地区修旅連有志が見学

コンコンチキチン…。祇園祭の京の町に流れる。七月十四日、総会終了後、三地区修旅連有志は、十数万人の人々にぎわう宵々山の鉦町に出かけた。

「安座のお守りはこれより出ます。信心のお方さ

全修協の夏季研修旅行

実施も残すところあとわずか

（財）全国修学旅行研究協会夏季教職員研修旅行は、七月二十四日出発の「白神山地探勝と津軽・下北」第一班を皮切りに、全国各地で実施に入った。七月の後半まで梅雨の豪雨により各地で交通への被害が出て影響も心配されたが、実施とともに天候も一転して好天に恵まれ、どのコースも順調に実施されている。



尾瀬はニッコウキスゲ満開

イベント情報

TAP栃木群馬観光キャンペーンが開幕。運輸省の「90年代観光立国振興行動計画（略称TAP90's）」に基づいたTAP栃木・群馬観光キャンペーンが、両県を舞台に八月一日開幕した。

「やすらぎの栃木路」のぼの群馬をテーマに、日本ロマンチック街道ステッカーラリーを始め、十月三十一日までの三か月間、各市町村で様々なイベントが繰り広げられている。

岡木 清氏（おかき・きよし）元財団法人修学旅行研究協会理事。七月二十四日東京都三鷹市牟礼二丁目11-1の自宅で逝去、七十八歳。葬儀は、十六日同市の禅林寺で営まれた。喪主は妻井千代（いちよ）さん。

9年度申込は10月27日締切

8年度はダイヤ改正の影響も

八月一日、近畿中学校修学旅行委員会（山口光則委員長）定例会が行われ、平成九年度計画輸送について審議、次のとおり決定した。

- 申込書発送 九月十四日（木）
●申込書締切 十月二十七日（金）
●抽選日 十二月十二日（火）

祇園祭に誘われ、歩行者天国にきわむ大通りや山鉦町を後にしたところにはもう十一時を過ぎていた。祭は十七日の巡行を中心に一月間、二階に顔をうつろわす。二階に顔をうつろわす。二階に顔をうつろわす。



行列の先頭になる長刀鉦

馬丸小路の鈴鹿山で子供たちの声を聞き、祭の情緒に酔い、人波を分けながら、長刀鉦を始め各山鉦をめぐり、船鉦まで散策する。船鉦は女性も出入りできる鉦の一つだ。町会所の二階から鉦に入する人たちの顔を

箱根高原ホテル
豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にのこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。
箱根高原ホテル
〒250-05 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

修学旅行/林間学校/スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……
夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

修学旅行の楽しいお食事
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221(予約センター)

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03)3585-1046(代表)
東京 コマ旅行会館